

県理容生活衛生同業組合

# 本職の技 シニアに伝授

厚労省 モデル事業 千厩で無料講座

県理容生活衛生同業組合主催の「交流サロン型サービス千厩」は2日、一関市千厩町の千厩農村環境改善センターで開かれた。厚生労働省の補助によるモデル事業として県内各地で開催している業界のプロによるシニア向け無料講座で、同市での開催は初めて。理美容と中華料理、クリーニングという盛りだくさんの内容で本職の技を伝授した。

厚労省による「生活衛生関係営業地域活性化連携事業」の一環。高齢社会に根差した地域コミュニティの活性化を狙いに地域包括ケアシステムとの連携も視野に入れたニーズの把握などに努めようと、「いきいきサロン」の運営ボランティアアらにも案内し、お年寄りら約30人が受講した。

県中華料理生活衛生同業組合と県美容業生活衛生同業組合、県クリーニング生活衛生同業組合の協力で▽蒸しタオルでのリフレッシュ（アイスパ）▽若さを保つための「ヘアケア&メイク」▽失敗しない「家庭洗濯の仕方」▽おいしい「ライメンの作り方」など内容も盛りだくさん。

このうちリフレッシュは、蒸しタオルを目や

肩に当てて温めることで血行が良くなり、目の疲れや肩こり、肌のくすみ、頭痛などの緩和に効果が期待できるという。プロの実演に続き、蒸しタオルを体感した受講者らは「肩が軽くなった」「目がすっきりした」と予想以上の効果に驚いていた。

女性の受講が多かったことから美容も関心を集めた。若々しい表情とボリュームのある髪型に仕上げるテクニックを学ぼうと、身を乗り出して実演に見入っていた。



首などに蒸しタオルを当てて、血行促進の効果を感じている受講者